



平成 22 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 三井松島産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 申間 新一郎
 (コード番号 1518 東証 福証)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 高田 義雄
 (TEL. 092-771-2171)

業績予想の修正及び当社連結子会社における投資有価証券売却益(特別利益)の発生に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 11 日に公表しました平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の第 2 四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想の修正並びに当社連結子会社における投資有価証券売却益(特別利益)の発生に関しまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 8 月 11 日)	百万円 36,000	百万円 1,000	百万円 900	百万円 1,500	円 銭 10.82
今回修正予想(B)	45,000	1,200	1,100	1,600	11.54
増 減 額(B-A)	9,000	200	200	100	
増 減 率(%)	25.0	20.0	22.2	6.7	
(ご参考)前期第2四半期(累計)実績 (平成 22 年 3 月期第2四半期(累計))	30,431	2,930	3,390	2,776	26.41

(2) 平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 8 月 11 日)	百万円 76,000	百万円 3,500	百万円 3,100	百万円 3,400	円 銭 24.52
今回修正予想(B)	82,000	3,600	3,200	4,000	28.85
増 減 額(B-A)	6,000	100	100	600	
増 減 率(%)	7.9	2.9	3.2	17.6	
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期)	61,014	4,803	5,250	3,463	30.0

(3) 修正の理由

平成 23 年3月期第2四半期(累計)の業績予想につきましては、売上高は、主力の燃料事業において、自動車等製造業向け出荷や中国等新興国向け輸出の増加に伴う国内鉄鋼メーカーの粗鋼生産の回復による原料炭需要の伸びにより、国内における石炭販売数量が計画に対して増加したこと及び販売単価も同じく上昇したことから、予想を上回る見込みとなりました。営業利益は、上記のとおり燃料事業は堅調に推移し、予想を約5億円上回る見込みであります。長崎県池島炭鉱跡地において取組んでいるリサイクル・合金鉄製造事業が本格操業への遅れから予想を約3億円下回る見込みとなり、予想に対して2億円の上方修正にとどまる見込みとなりました。経常利益及び四半期純利益は、上記の理由等により各々予想を上回る見込みとなりました。

また、平成 23 年3月期通期の業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益は、第3四半期以降の国内石炭販売において、需給の緩みによる石炭価格の下落及び円高(円/米ドル)による減少を見込んでおりますが、上記のとおり第2四半期(累計)の業績が堅調に推移し、通期では各々予想を上回る見込みとなりました。当期純利益は、上記に加えて下記のとおり投資有価証券売却益発生に伴う特別利益の計上等により、予想を上回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

2. 当社連結子会社における投資有価証券売却益(特別利益)の発生について

当社の連結子会社である三井松島インターナショナル社は、同社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、下記のとおり投資有価証券売却益(特別利益)が発生しましたのでお知らせいたします。

記

(1) 投資有価証券売却の理由

将来の石炭供給ソース確保に必要な投資資金を調達するため。

(2) 投資有価証券売却益の発生日

平成 22 年9月 29 日から平成 22 年 10 月 21 日(約定日)

(3) 投資有価証券売却益の内容

①売却資産の内容	同社保有上場有価証券1銘柄
②売却株式数	2,600,000 株
③売却益	約14百万A \$ (約1, 144百万円)

(4) 今後の見通し(連結)

上記売却益につきましては、同社が12月期決算会社であることから、次のとおり計上予定であり、上記の平成 23 年3月期通期の予想数値に織り込み済みであります。

第3四半期連結会計期間	約 2百万A \$ (約 196百万円)
第4四半期連結会計期間	約12百万A \$ (約 948百万円)
計	約14百万A \$ (約1, 144百万円)

以 上